

伊豆の踊子・温泉宿 他四篇



[伊豆の踊子・温泉宿 他四篇 下载链接1](#)

著者:[日] 川端康成

出版者:岩波書店

出版时间:2003-09-18

装帧:

isbn:9784003108116

出版社/著者からの内容紹介

旧制第一高等学校に入学した川端康成（1899-1972）は、1918（大正7）秋、初めて伊豆に旅をして、天城峠を越えて下田へ向かう旅芸人の一行と道連れになった。ほのかな旅情と青春の哀歎を描いた青春文学の傑作「伊豆の踊子」のほか、祖父の死を記録した「16歳の日記」など、若き川端の感受性がきらめく青春の叙情6篇。

内容（「BOOK」データベースより）

旧制第一高等学校に入学した川端康成(1899 - 1972)は、1918(大正7)年秋、初めて伊豆に旅をして、天城峠を越えて下田に向かう旅芸人の一行と道連れになった。ほのかな

旅情と青春の哀歎を描いた青春文学の傑作「伊豆の踊子」のほか、祖父の死を記録した「十六歳の日記」など、若き川端の感受性がきらめく青春の叙情六篇。

作者介绍:

目录:

[伊豆の踊子・温泉宿他四篇 下载链接1](#)

标签

川端康成

短篇

温泉

评论

“忽略了所谓时间这个东西，我躺在船上，什么也没有想，心情异常地平静，只是眼泪啪嗒旅人问我遇了什么不幸吗？我说，是离别了今人。随着伴着一股清清的满足静静的入了眠的頭が空っぽで、時間というものを感じなかった。涙がぽろぽろかばんに流れた。唯清々しい満足の中に静かに眠っているようだった”

[伊豆の踊子・温泉宿他四篇 下载链接1](#)

书评

[伊豆の踊子・温泉宿 他四篇 下载链接1](#)